

令和7年度 年間指導計画及び具体的な評価の方法	1 年 技術・家庭科（技術分野）	観点別学習状況	評価の観点	観点番号
		知識・技能		1
		思考・判断・表現		2
		主体的に学習に取り組む態度		3

月	指導事項区分		配 当 時 間	指導内容 主な評価規準	観 点 番 号	具体的な評価の方法
	領域	単元				
4月・5月	ガイダンス	技術で学ぶこと 技術と私達の生活	2	・小学校での学習内容を振り返り、技術分野との関連をおさえることができる。 ・身近な製品を例に、利用されている技術に気づくことができる。 ・生活の技術に興味や関心を持つことができる。	1 2 3	ワークシート 授業観察・ワークシート
5月・6月・7月・8月			6	・ものづくりの視点と進め方について学習し、昔の製品と今の製品と比較したときの技術の工夫について考えようとしている。 ・身近な製品や過去の設計の例から、設計要素を理解している。 ・材料の主な特徴や環境との関りについて理解している。 ・使用の目的や条件に適した機能や構造、材料と加工法などについて考えている。 ・より良い社会や持続可能な社会の構築に向けて、自分なりの考え方で解決策を構想しようとしている。	3 1 1 2 3	ワークシート 授業観察（発言、協議、作業への取組等） 小テスト
			5	・簡単な立体を等角図や第三角法による正投影図で製図ができる技能を身に付けている。 ・課題に応じて、適切な図法を選択し、構想図や製作図を作成することができる。 ・他者に設計の意図を伝えることについて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとしている。	1 2 3	実習 授業観察（発言、協議、作業への取組等） 小テスト 応用課題
		材料と加工の技術による 問題解決	6	・家庭生活での課題を自ら設定し、技術の見方や考え方を働かせ、自分なりの解決策を見出し、作品を構想しようとしている。 ・CAD の 基本的な使い方を学習し、製作図を作成する技能を身に付けている。 ・製作者に伝えなければいけない情報を判断し、設計品に応じた製作図を作成 することができる。 ・CAD や3Dプリンターなど、技術の発展による技術の最適化について考えようとしている。	3 1 2 3	構想図 製作図 ワークシート 授業観察（発言、協議、作業への取組等） 小テスト
9月・10月			14	・作業工程に必要な工具の仕組みや基本的な使い方について、技術の見方・考え方に基づいて理解することができる。 ・条件や材料に応じて、適切な作業工程を考えることができる。 ・適切に工具を使用し、材料を加工したり、組立てたりする技能を身に付けている。 ・作品の修正点や改善点に気づき、技術の見方・考え方を働かせて、修正方法や改善方法を見出している。 ・完成した作品についてのレポートを作成し、様々な視点から評価し、自らの活動について振り返ろうとしている。	1 2 1	製作品 ワークシート 授業観察（発言、協議、作業への取組等） レポート
10月					2	
11月					2	
12月					1	
1月		社会の発展と材料と加工の技術	2	・新しい技術について例を挙げ、材料と加工の技術が社会や環境に果たしている役割と影響について理解することができる。 ・材料と加工に関する技術の課題を、社会的側面、経済的側面、環境的側面から 比較検討し、適切な解決策を見出そうとしている。	1 2 3	ワークシート 授業観察（発言、協議、作業への取組等） レポート
2月						
3月						